

事例紹介シート

①学校名	京都府立園部高等学校
②教科・領域 科目等	保育基礎
③単元名	児童文化
④目標	子どもを保育する上で必要な絵本の読み聞かせ等の手法を学ばせる。
⑤受講者	3年保育基礎（選択）
⑥連携先	岡 真由美さん（南丹市中央図書館日吉図書室）
⑦内容 ・取組の特徴 や工夫 等	<u>1 絵本の読み聞かせの方法と注意点</u> 絵本を選ぶ際のポイント（絵の特徴や子どもの心が落ち着く色味など）や絵本の持ち方などについて、実際の読み聞かせを通して説明いただきました。 <u>2 エプロンシアターについて</u> エプロンを使った人形劇について紹介いただきました。 <u>3 紙芝居の扱い方と有効な読み方</u> 登場人物に合わせて声色を変えたり、紙の引き抜き方を工夫したりと、紙芝居特有の表現について紹介いただきました。 子どもにとって、いろんなお話に触れることがいかに大切であるかということについても学ぶことができました。       この学習をもとに、次の時間には紙芝居の読み方について練習し、全国家庭科保育技術検定3級言語表現技術の課題につなげていく予定です。
⑧成果・生徒 の感想等	・高校生になって自分で絵本を読む機会や読んでもらう機会がないので楽しい時間だった。 ・私は将来保育士になりたいので、子どもに向いている絵本や読み方などがわかってよかった。 ・エプロンシアターは初めて知りました。これは子ども達が楽しい面白いと思うものだったと思います。 ・絵本や紙芝居は読み方ひとつで興味や集中がかわると思うので、保育所や幼稚園に行って読み聞かせをするときには練習をしたい。